

館報



12月号

No. 752

やまがた

平成30年



地域密着型で働く

とも ゆき
平沢 朋之さん(中大池)

青空の下、爽やかな笑顔を見せるのは平沢土建の朋之さん。土地の造成や塀作りなど、家の周りの仕事全般を請け負う。

「工事は一度やれば長持ちするから、依頼主にとって一生に一度のことをさせてもらっていると思い、丁寧な仕事を心掛けている。いいものができた時、よかったよと言ってもらえるのが嬉しい」とやりがいを語ってくれた。

そして冬に雪が積もると早朝から道路の除雪をしてくれる一員としての彼がいる。「山形村の除雪は早くて丁寧」と評判がいいのは彼ら業者さんたちの活躍もあるからだろう。この冬もお世話になります。

(11月24日 平沢土建にて)

働く姿
シリーズ

上大池分館お元氣会

11月25日(日)、上大池コミュニティセンターにて「お元氣会」が開催されました。これは上大池分館独自の敬老会で、今年は朝日村在住の「ちよん」さんによる沖繩三味線の演奏を聴いた後、懇親会をしました。会場は大変盛り上がり、お元氣会でした。



中学校資源物回収のお礼

今年9月8日(土)に実施した鉢盛中学校PTA資源物回収には、皆様から御協力をいただきありがとうございます。この収益金は、学校施設や教育活動の充実などに充てたいと考えております。

【山形村回収分】

○アルミ缶 95,040円
○ビール瓶・ビールケース 20,954円
エコライフを
考える会様から、
今年も多くの資
源物をご提供い
ただきました。

PTA会長 上條 賢
学校長 藤田 克彦

平和を考える

11月17日(土)、トレーニンングセンター大ホールで平和の尊さを語る会が開かれました。国連にて被爆証言をされた藤森俊希さんが壇上に立ち、これまでの苦労を交えて戦争の悲惨さを語ってくださいました。聴講者の多くは戦争を経験されており、藤森さんのお話に共感されるとともに、今後どのように語り継いでいくべきか真剣に考えていました。



演劇で感染性胃腸炎を啓発

12月13日(木)、小学校の保健委員会の子どもたちが感染性胃腸炎をテーマに劇を行いました。色んな役に扮し、体調が優れない友達がいいた場合の対応の仕方、手洗いの大切さなどを呼びかけました。



福祉のつどい

12月1日(土)、農業者トレーニンングセンターにて山形村社会福祉協議会主催の「福祉のつどい」が開催されました。今回は社会福祉法人の創立30周年を記念し、村内で活躍している団体のステージ発表や落語の公演もあり、盛大なイベントとなりました。

中大池区民ふれあい会

11月18日(日)、中大池分館社会部主催の区民ふれあい会が語り部の館で行われました。当日は60名近い区民が参加し、祭りばやし保存会と本年の大池諏訪神社祭典乗り子の皆さんによる祭囃子の演奏や、大道芸人ぼびーさんの演芸が披露されました。ぼびーさんのファイヤーパフォーマンスの凄さには、皆さんも驚いていました。



炎を吹く大道芸人ぼびーさん

育成会研修会

12月9日(日)、いちいの里研修室にて、山形村子ども会育成会主催の合同役員研修会が行われました。第一部で村の社会福祉協議会から子どもへの福祉支援について説明があり、第二部ではNPO法人HappySpot Club代表理事の高山さや佳さんを講師に迎え、「地域で育てる子どもたちの未来」と題した講演を聴きました。村内で子ども支援に関わる役員の方を中心に20名以上が参加し、グループワークを交えながらの研修に真剣に取り組んでいました。



多くの方で賑わっていました

山すそ

今年の流行語大賞が『そだね〜』に決まった。年をとるたびに一年が過ぎるのが早く感じるようになってきた。流行語のそだね〜が流行っていたのは先シーズンの冬の事だからもう一年たつのかと思うと自分の年齢も気になってしまふ▼先日、某歌手のバースデーブロックツアの千秋楽に行ってきた。久々に掛けるコンサートにテンションはあげあげでとても盛りあがった。そのコンサートの中で誕生日について考えさせられる事があった。自分もそうだが、年をとるたびに「あゝまた年をとってしまった」と自分の年齢に対して否定的になってしまふ人が多いと思う。否定的な下向きな考えよりも年をとる事を自分自身が肯定する。周りに誕生日の人がいれば「誕生日おめでとう」と肯定する事が大事だと話されていた。今まで永遠の28歳と周りに言っていたがやめるようにしよう▼人生の千秋楽がくるその日まで精いっぱい楽しく生きようと思う。



表1 連絡班未加入状況の推移

	総人口	総世帯数	加入世帯	未加入世帯	未加入世帯率
H5年	6,895	1,712	1,682	30	1.8%
H10年	7,743	2,036	1,921	115	5.6%
H15年	8,178	2,279	2,033	246	10.8%
H20年	8,622	2,552	2,180	372	14.6%
H25年	8,709	2,741	2,209	532	19.4%
H30年	8,698	2,963	2,143	820	27.7%

*清水高原、ピア山形を含めない 各年4月1日時点の数字

各地区で行政懇談会が開催された中、連絡班未加入世帯の増加など地域コミュニティの問題が話題になったかと思えます。館報においても過去に、「区に入らなくても苦にならない」「山形村は役が多い?」(平成11年10月号他)と題し、連絡班(区)未加入に関する問題などを取り上げてきました。連絡班未加入世帯が増加の一途をたどる中、山形村の現状を確認するとともに、地域コミュニティの今後の在り方について考えてみました。

表2 地区別 連絡班未加入状況

	総世帯数	加入世帯	未加入世帯	未加入世帯率	連絡班数
上大池	300	252	48	16.0%	11
中大池	243	200	43	17.7%	7
小坂	615	434	181	29.4%	19
下大池	279	222	57	20.4%	7
上竹田	763	539	224	29.4%	22
下竹田	763	496	267	35.0%	23

*平成30年4月1日現在

連絡班の未加入状況

平成5年から30年までの連絡班未加入世帯の推移は表1の通りとなります。平成15年の未加入世帯率は1割程度でしたが、人口の増加に伴い未加入率も高くなり、3割近い世帯が連絡班に加入していない状況になりました。広報やまがた11月号の「明日の山形村のために」と題した企画の中でも述べられた通り、新規転入世帯の未加入増加だけでなく、既存加入世帯の脱退も未加入率が高くなっている要因でもあります。

表3 連絡班別世帯数分布

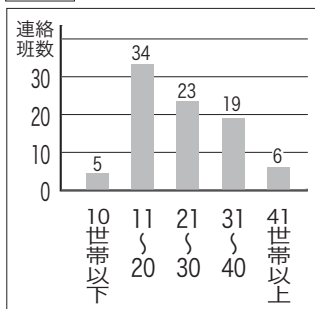


表2は地区別の未加入世帯の状況になります。宅地造成などによる新規転入者やアパートが多い地区(小坂、竹田)における、未加入率が高くなっていることが顕著となつていくことがわかります。

回りの負担が重い!!

連絡班に加入しない理由はそれぞれの世帯で違うと思いますが、「回りの負担が重い!!」が一番ではないでしょうか。連絡班などの大きな役の他にも、区の議員、分館の社会部や体育部など多くの役を受けない限りはなりません。

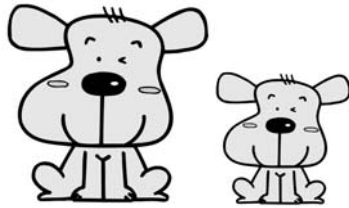
表3は連絡班毎の世帯数の分布になります。

「遠くの親戚より、近くの他人」と言うことわざがありますが、現代は「近くの他人」より、SNSの友人」とでも言う感覚で、近所付き合いは煩わしいと思う人も間違いなく増えていきます。地域コミュニティを今後も維持していくには、昔からのしがらみに囚われず、SNSなどを上手に活用することも一案ではないでしょうか。

人口減少、少子高齢化の社会が進んでいく中、単に地域コミュニティの活動を縮小していくのではなく、活力ある山形村を築くために、人任せにせず村民自らが出来るが考えていきたいものです。

今すべきことは?

行政懇談会の席において、回りの負担軽減にもつながる連絡班の統合・再編が提言されています。小規模な連絡班の統合・再編は、現状の課題を解決する具体的な施策であり、住民と行政が協同しながら進めていくべきだと思います。また、現在ある多くの役職について必要性の検証と、住民負担となつていないことの外部委託や行政側で請け負うことが出来ないかも考えてみるべきだと思います。



振り返る お年になりましたか？

今年も残すところあとわずか。平成最後の年の瀬でもあります。みなさんにとってどんな一年になりましたか？
今年も6名の方に一年を振り返ってもらいました。どんな一年だったのか語っていただきます。

公民館活動を通じて



川上 公靖
(下大池)

一年を振り返ると、公私ともに忙しい年だったと感じます。そんな中、分館の社会部長として活動をさせて頂き、いろいろな事を考えさせられた一年でもあったと思います。今年、社会部としての一イベント「バスハイク」では、6月に、鉄道博物館・こにやくパーク・世界遺産の富岡製糸場ツアーを企画しました。公民館活動では、お年寄りから子どもまでの大勢の参加を目標に活動をしてきましたが、なかなか参加者が集まらず、役員関係者ばかりとなってしまう、部長としての力不足を感じてしまいました。しかし、分館長や部員の支えがありなんとかここまでやってこれたと思います。また、今年、運動会やじゃんずらにしても縮小傾向が見られ残念な年だったので、公民館活動がより活発になるよう、次期役員へしっかり引き継いで行かなくてはいいけないと実感しました。

春がきた!!



瀬川 久幸
(上大池)

今春、我が家に初孫（外孫ですが）が誕生しました。その名は「春」
誕生日は私と同じ4月4日。なんと57歳の誕生日プレゼントは孫娘でした。でかした我が娘よ！
『孫は可愛い！』と先輩方がおっしゃっていました。まさかここまで可愛いとは、想定外でした。本当にカワイイ自分の子どもよりも？
3人の子どもたちも社会人になり、すっかり親離れ。犬しか相手になってくれなかった私には最高の贈り物でした。本業では、夏のスイカは余りの暑さに閉口しました。秋の白ネギは、台風21号24号に倒されてしまい苦労しました。そして今は長く伸び過ぎた長芋掘りに四苦八苦です。でも、春を抱き、若い力を充電してもらえば頑張れます。この調子で、来年も張り切っていきたいと思っています。

沢山の出会い



古畑 香文
(上竹田)

主人が体育部員となり2年目。色いろが重なり、白髪が増えた主人を横目に、私はただ楽しく、行事に参加して来しました。
4月に、新たな試みのスポーツ大会が行われ、初めての競技に戸惑いながらも、お子様連れご家族と一緒に、スポーツを楽しみました。本人は真剣にやっているのですが、思っている以上に、真っ直ぐ投げられない、屈かない、的の中心が霞んで見えない…。老眼だと言われました（笑）
秋には、建部神社の祭典委員として参加。準備から子どもたちと回る御神輿も初めてで、とても新鮮に感じました。祭典を盛り上げようと、ご尽力される若い方たちの姿があり、頭が下がりました。多くのことは出来ませんが、胸に残る貴重な体験になりました。
そして村民運動会。選手がなかなか決まらず苦戦している中、常会の皆さんを始め、

祭典委員で知り合った方、常会の枠を超え、知人をご紹介してくださった方もおられ、本当にありがたかったです。
地区も年代も関係なく、顔を合わせた言葉の中には、多くの刺激があり、今後に繋がるものを感じました。少しずつ、顔見知りが増えた喜びとともに、生まれた輪を大切にしたい、新たな年に向かいたいと思います。

2018年

重大ニュース

1月・築地市場最後の初競り

・成人の日に振袖業者不明

・関東甲信で大雪

・草津白根山で噴火

2月・全国で皆既月食
・陸自ヘリ民家墜落炎上

・平昌オリンピック開幕

・羽生善治・井山裕太氏に国民栄誉賞授与

3月・平昌パラリンピック開幕

・森友学園をめぐる財務省決裁文書改ざん

小林副村長就任

4月・大分山崩れ死者6人
5月・藤井棋士、史上最少で七段に

6月・大阪府北部地震

2018年を振り返って 今年はどんな年だったのか



櫻井 京子
(小坂)

2018年を振り返って

山形村データあれこれ	
人口	8,777人
男	4,335人
女	4,442人
世帯数	3,080世帯
出生数	55人
死亡数	99人
転入数	275人
転出数	248人
(役場 11月末現在)	
村内における人身事故	
負傷者	17件
死亡者	1人
(松本警察署 11月末現在)	
村内における消防出動	
火災	3件
救急	270件
救助	3件
その他	24件
(松本広域消防局 11月末現在)	

分館体育部副部長二年目の年でした。村民運動会で二年連続優勝、しかも完全優勝を果たせたことは、皆さんのご協力あつてのことと本当に感動しました。今年の運動会は、規模を縮小して行われました。そのことには賛否両論あるかと思いますが、「大変だけれど楽しい」そのバランスは時代とともに変わっていきます。やはり変えていく部分も必要ではないかと思いましたが、でも間違いなく言えるのは、村民運動会が今も続いているすごい村だということ。我が家も山形村に引越してきて十六年になります。正直名前も知らない土地でしたが、いまでは大切なふるさとになりました。私の大好きなGLAYの「ホワイトロード」という曲に「故郷は場所ではなくてあなたでした」という歌詞があります。私も山形の皆さんにお世話になり、この村が私たち家族のふるさとになったのだなあと、感謝の思いでいっぱいです。



中村 俊春
(中大池)

家と祭りの一年

今年を振り返ると、家の新築と秋祭りの対応で、多岐・多忙な一年でした。家につきましては、旧家の取り壊しや引っ越し作業等大変でしたが、今月中旬には新しい家に入居出来る運びで、この機会に新たな気持ちでスタートしたいと思っております。祭りでは、中大池区が年番の大池諏訪神社例祭で、祭典委員長として、祭りを掌らせていただきました。祭りが終了して、既に数か月が過ぎようとしています。乗り子の子ども達の可愛らしくも真剣な祭り囃子の演奏が今でも思い出されます。また、奉納余興ライブでは、氏子の皆さんの飛び入り共演もあり、平成最後の祭りを多に盛り上げて頂きましたこと、お礼申し上げます。家、祭りと、あわただしい年ではありましたが、両立出来ましたのも、家族のサポートは基より、区民の皆様のご協力のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。



田口 広克
(下竹田)

色々あった一年

今年一年をふり返ってみると、台風や地震といった自然災害に悩まされた一年だったと思います。大雨や暴風で農業被害を受けることもありました。北海道の大地震では、大規模な停電で多くの人が苦しい思いや悔しい思いをしたことは忘れられません。改めて普段からの備えが大切であると感じました。消防団では今年から下竹田分団のラッパ班長になりました。来年はラッパ演奏大会があるので、団員のサポートをしつかりと行いたい成績を残したいです。長年やっている早起き野球では、助っ人に参加した市民タイムス杯でベスト4に入ることが出来ました。若い人たちはまだまだ負けたくないです。来年は、消防の大会などで少し忙しくなりそうですが、早起き野球、ナイターソフトなどのスポーツにも力を入れて頑張っていきたいです。

- | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|
| <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山雅初優勝J1昇格「そだねー」 ・流行語大賞決定 ・清水寺展望台撤去完了 | <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産ゴーン会長逮捕 ・大谷翔平メジャーで新人王に ・村民運動会規模縮小 | <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庶氏にノーベル賞 ・築地83年の歴史に幕 ・福地君11歳がオセロ世界大会で最年少優勝 ・安田純平さん解放 ・免震データ改ざん ・高円宮絢子さまと守谷さん結婚 | <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道胆振東部地震 ・大坂なおみ全米オープン優勝 ・安室奈美恵さん引退 ・安倍首相が3選 | <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京医大不正入試 ・群馬防災ヘリ墜落9人全員死亡 | <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカードシアW杯ベスト16 ・西日本豪雨死者200人以上 ・オウム死刑確定13人全て執行終える ・大相撲名古屋場所御嶽海が初優勝 ・下竹田共有山鳥居建て替え |
|--|---|--|--|--|--|

社会教育功労者表彰を受章して

逢澤 佳丸
よしまる

11月2日、社会教育に功績があったとのことで東京の日本青年館での表彰式に行ってきた。受付で座席指定や式次第等の案内と受章者名簿を頂き、今回の受章者総数は11名、長野県からは上田と伊那の方、私の3名であることを知りました。因に受章理由を名簿から読み解くに、功績分野は15の多種に及び「青少年教育」44名「社会教育計画」36名「女性教育」12名と圧倒的で続いて「公民館活動」「図書館活動」等々が1、3名ずつという結果でした。次に私自身のことですが平成4年度から地区の青少年育成会長、続いて村の育成会長併せて社会教育指導員、教育委員、文化財保護委員、生涯学習推進委員等を兼務で勤めました。加えて民生児童委員を15年間、社会福祉協議会の役員を20年間勤めさせて頂きました。



子どもたちに村の史跡を案内する
逢澤さん（穴観音にて）

この子ども交流活動に関わったこと、信濃山形ロードレース大会のお手伝い、同和教育講座で重い映写機を持つて各地区公民館を回ったこと等々懐かしい思い出です。また当時の「子ども会育成会」の役員の方々との「思い出会」が20年経った現在も続いていますが、良き仲間にも恵まれたことを嬉しく思います。

この度の受章を身に余る光栄と感じつつ、残された余生を村の発展のために努力するつもりですので、皆様からのより一層のご指導をお願い申し上げます。

ナイトライブラリー

11月16日(金)、図書館で読み聞かせイベントがありました。「おはなしの会」が毎年おこなっており、今年は20人以上が紙芝居や暗闇での語りに耳を傾けていました。同会は毎月、児童館での読み聞かせなどもしており、現在メンバーも募集中のことです。



ロケットストーブ作り

12月8日(土)、トレーニングセンターめばえの部屋にて、ロケットストーブ作り講習が行われました。

パール缶に煙突を通す穴を開ける作業が最大の難関で、受講者の皆さんは誰からともなく手伝い、立派なロケットストーブを作りました。



まごころのふりかへ

12月9日(日)、トレーニングセンターめばえの部屋にて、まつぶつくりのツリーづくり講習が行われました。

間近に控えたクリスマスにイメーをしながら、思い思いに作品を作っていました。お気に入りの逸品ができたでしょうか？



傑作揃い！

もっと、読書に親しむ機会を

12月6日(日)小学校にて、村図書館のセカンドブック贈呈式が行われました。1年生児童の読書への興味・関心を持たせるために行う事業で、初の試みとなる今回は本庄村長から各クラスに本を手渡しで贈りました。

昨今は、インターネットやスマートフォンの氾濫で、本をじっくり読む時間が少なくなっていると言われています。この本をきっかけにして本が好きになってくれると嬉しいですね。



風

(敬称略)

おめでた(子・親)

宮沢 昇・大地 由衣・上竹田

おくやみ

宮沢 源一・89歳・上竹田
大池 一二三・95歳・下大池
柴 要次・88歳・小坂
瀬川 興四郎・77歳・上大池
中村 くにみ・92歳・中大池
柳澤 今朝太郎・93歳・下大池
横水 永子・91歳・下竹田
鈴木 よし江・91歳・小坂



山形情報局

ちびっこ集まれ!

やきいも会

11月15日(木)、山形保育園にてやきいも会が行われました。天候にも恵まれたこの日、畑で採れた大きなサツマイモを火に投げ入れ、待つこと数十分。園児たちは美味しく焼けたお芋を口いっぽいにほおぼっていました。



サッカー少年表敬訪問

12月13日(木)、静岡県で行われる少年サッカー大会に出場する吉池弥鹿くん(左)と平林瑞樹くん(右)が村長室を訪れました。二人は松本トレセンU12チームに所属しており「チームに貢献したい」と意気込みを語りました。



あそびの広場

11月17日(土)、小学校PTA主催のイベントがありました。小学校体育館では風船や輪っかなどを使って体を動かし、トレーニングセンターでは和太鼓の演奏を体験し、ふれあいドームでは手作りの飛行機を飛ばしました。子どもたちの元気な声が響いていました。



ヤマリク駅伝出場

12月8日(土)・9日(日)の2日間、大阪府吹田市で「日清食品カップ第21回全国小学生クロスカントリーレーン研修大会」が行われました。この大会に小学校ヤマリククラブが長

野県代表として出場し、高低差のある芝生広場1周を男女各3人でたすきをつなぎました。今年最後



クリスマスマーケット

12月2日(日)、子育て支援センターすくすくで、すくすくまつりがありました。クリスマスにちなんだワークショップやガチャポンなどの6カ所のブースがあり、村内外から訪れた大勢の家族が、日曜日のひとときを楽しそうに過ごしていました。



公民館・活き生きの大学活動記録

王滝村との地域間交流

11月13日(火)、山形と王滝両公民館の交流が農業者トレーニングセンターで行われ、公民館・活き生き大学の受講生が参加しました。



お洒落なそばガレット

はじめに、横水貴幸さん(下竹田)を講師に招き、山形村の特産物を使った「そばガレット」や「長いも団子」などを作りました。それぞれの受講者は、出来上がった料理に舌鼓を打ちながら、会話に花を咲かせていました。お腹が満たされた後は、バスに乗り、村内の道祖神を探索しました。村史談会の上條光男さん(中大池)を案内人に「車屋美人」や「大池の頭

領」など計4カ所の道祖神を巡りました。

地域間交流によりお互いの公民館活動の視野を広げることのできる今回のような企画。山形村の



冬にぴったりの料理づくり

11月27日(火)、トレーニングセンターの調理室で、保健福祉課の高山栄養士を講師に招き、冬の料理作りが行われました。この季節にぴったりのチキンロールやサラダケーキなどを作り、添え物のトマトで作ったサンタクロースが料理をさらに可愛らしく見せていました。





母娘で奏でる 三味線

母 百瀬 瑞代さん
娘 百瀬 心美さん
(下竹田)



絆
KIZUNA

百瀬瑞代さんと心美さんは母娘であり、三味線の師弟でもあります。

瑞代さんが村内で開いている三味線教室に心美さんが加入してから約1年。「難しいけど、うまく弾けたときは嬉しい」という心美さんは、村の文化祭はもちろん、各所で他のお弟子さんたちと一緒に演奏するまでになりました。まだ小学生の心美さんが三味線を奏でる様子は、特に高齢の皆さまに大人気だそうです。

失礼ながら母娘で師弟だと難しいことも多々あるのでは？と思つたのですが、「三味線を通じて母娘の会話や一緒にいる時間が増えたことの方が嬉しい」と口を揃えて話してくれました。

「いずれは母娘ならではの呼吸で一つの曲を弾きたいです」と瑞代さんが目標を教えてくれましたが、取材中のお二人の掛け合いを見ていると、実現するのはそう遠い未来の話ではないと感じました。

上條 敏子さん

下竹田
いて座

親子で



松本山雅FC

祝J2優勝&J1昇格

しゅんすけ
上條 俊祐さん

下竹田
おうし座

私は、高崎選手と
下川選手♡



岩上選手の
ファンですよ♪



敏子さんは俊祐さんを松本山雅の試合に誘った張本人。友だちとサンプルアルウィンに試合を見に行つたのがきっかけで、すっかり松本山雅にハマってしまいました。ホーム戦は全試合。アウェイでの試合も近県なら出かけ松本市かりがねサッカー場で行われている松本山雅のトレーニングも10回は見に行つたそうです。

「私にとって松本山雅は第2の青春」という敏子さん。J1での戦いとなる来シーズンは、今年よりもっと謳歌しそうな感じですよ。

「松本山雅は生きる糧」という俊祐さんは、松本山雅のサポーター。母に誘われて行つたのがきっかけで、今では熱狂的な山雅ファン。山形村の後援会『フォルツァ山形』にも入っています。サンプルアルウィンで行われるホーム戦はもちろん、近県で行われる試合にも足を運ぶほどで、家族の中でも一番観戦に出かけているそうです。山雅あるところに俊祐さんがいるって感じでしょうか？

来シーズンはJ1での戦い。今年以上に応援には熱が入ることでしょうね♪